

# 二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

令和4(2022)年 4月14日  
 国立市立国立第二中学校  
 校長 黒田 宏一  
 国立市富士見台3-30  
 電話 572-2187

## 新年度にあたって～共に学び、共に助け合い、共に生きる国立二中をめざします！

校長 黒田 宏一

本校創立64周年にあたる令和4(2022)年度がスタートしました。この2年の新年度を振り返ると、令和2年度は「学校臨時休業～緊急事態宣言」へと移り変わる時期、令和3年度は「まん延防止等重点措置～緊急事態宣言」へと移り変わる時期でした。本年の新年度は、現在「リバウンド警戒期間」中であり、感染拡大防止対策の徹底を図りながら教育活動も拡大の方向となる期間となっています。徐々に呼称は緩みつつあり1日も早い収束を願うとともに、これからも通常の教育活動が実施できる方向に進んでほしいと願うところです。しかし、感染者数の高止まり、特に10歳代以下を含めた若者の感染拡大傾向など、予断を許さない状況であることも認識しなければなりません。現状を十分把握しながら、丁寧に本年度の教育活動を進めてまいります。

さて、4月7日(木)には、第65回入学式を、昨年度に引き続き感染防止対策の観点から2回に分けて挙行いたしました。本年度は208名の1年生が入学し、全校生徒587名、学級数も増加し特別支援学級、通常学級を合わせて19学級での出発となりました。年々増加傾向ですがこれを本校への期待の表れと捉え、その期待にお応えすべく全力ですべての生徒の健やかな成長をサポートして参ります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本年度も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。ここに、本年度の学校経営の方針をお知らせいたします。

### 《 教育目標 》

たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する人間性豊かな生徒の育成をめざす

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 一、よく考え進んで学習する生徒 | 一、思いやりをもち協力する生徒 |
| 一、自らの心と体をきたえる生徒 | 一、正しく判断し実行する生徒  |



### 《 令和4年(2022年)度の学校経営の重点 》

#### 1. 令和4年(2022年)度の重点目標

共に学び、共に助け合い、共に生きる 「共学」「共助」「共生」の国立二中

#### 2. 指導の柱(重点)

##### (1) 意欲を高める学習指導～共に学ぶ「共学」

- ①全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に学習に取り組む生徒の育成をめざす。
- ②昨年度の研究成果に基づき、「わかる喜び」のある授業、意欲の高まる授業作りに励む。
- ③学びの質を高めるため、授業改善を推進し、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
- ④「思考力・判断力・表現力」を育て、生徒の「学びを活用する力」の伸長を図る。
- ⑤GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境により、教育用タブレットの効果的活用について研究を進める。

##### (2) 規範意識を高め、自他を敬う生活指導～共に助け合う「共助」

- ①率先して全教職員が、生徒の模範となる行動・教育活動の実践を行う。
- ②生徒一人一人に寄り添い、生徒が安心して生活できる(居心地の良い)場を作る。
- ③特別の教科「道徳」の授業を要として教育活動全般を通じて心の教育の充実を努め、「感謝・思いやりの心、共助の精神」を育み、心の成長率NO.1をめざす。

##### (3) 互いの良さを認め合う特別活動～共に生きる「共生」

- ①限られた時間の中で、生徒が主体となって活動する学校行事、生徒会活動等の充実を図る。
- ②全教員が力を合わせ学級経営、学年経営の充実を図り、温かな人間関係を構築する。
- ③学校教育の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

##### (4) 特別支援教育の充実

- ①特別支援学級「A組」の円滑な運営と「交流及び共同学習」を推進する。
- ②特別支援教室「かがやき」の円滑な運営と拠点校と巡回校との連携強化を図る。